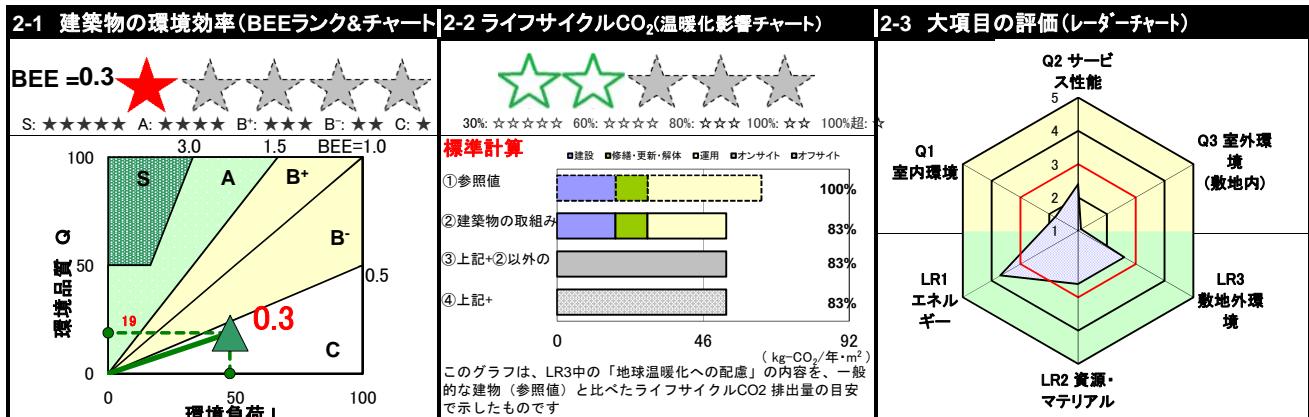




1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社 宮崎 横浜支店 新築工事	階数	3
建設地	横浜市都筑区池辺町字敷前3905番3、3905番4、3914番2、3914番3	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	60 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,285 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年9月 竣工	評価の実施日	2021年9月6日
敷地面積	4,158 m ²	作成者	小山
建築面積	2,495 m ²	確認日	2021年9月6日
延床面積	4,578 m ²	確認者	真野



3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
工業地域に位置する今回の工場は、古紙の回収加工を行う工場で、周囲への騒音及び振動は比較的小さいものです。敷地の周囲には緑地を配置し、周囲への緩衝を心掛けています。	外部への回収物の飛散防止に配慮し、高さ2.5mほどの壁を敷地周囲に立てています。また、外部に出る騒音を抑えるため外壁をALCとしています。	
Q1 室内環境	Q3 室外環境 (敷地内)	
工場で非空調の為、特に配慮はありません。	緑地の確保に努めています。	
LR1 エネルギー	LR3 敷地外環境	
生産設備のみで空調がない為、特にありません。	敷地の周囲には緑地を配置し、周囲への緩衝を心掛けています。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフケイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



4 横浜市重点項目についての環境配慮概要

<非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 株式会社 宮崎 横浜支店 新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving

重点項目への取組(5点満点)

【省エネルギー性能】 3

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

① BPIM=0.75

③ BEIM=0.69

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community

重点項目への取組(5点満点)

【快適・働きやすさ】 2

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

工場で非空調の為、特に配慮はありません

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

階高の高い空間となっています

休憩スペースを設けています

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

特に配慮はありません

防災への配慮 (R) Resilience

重点項目への取組(5点満点)

【防災】

2

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

内装がないため主要内装仕上げ材の更新の必要がありません

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape

重点項目への取組(5点満点)

【地域・まちづくり】 1

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

敷地内に緑地を設けています

外部への回収物飛散防止に配慮し、壁を敷地周囲に立てています

外部に出る騒音を抑えるため、外壁をALCとしています

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギー・マネジメントシステム以外)

エネルギー・マネジメントシステム導入

CASBEE® 横浜 | 評価結果 | 3-086



CASBEE横浜2017年版v.1.4
株式会社 宮崎 横浜支店 新築工事

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.4

スコアシート 実施設計段階		重点項目 <非住宅> <集合住宅>	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	評価点		重み係数	評価点	重み係数		
Q 建築物の環境品質			-	-	-	-	1.7
Q1 室内環境			0.31	-	-	-	1.8
1 音環境	1.0	0.15	-	-	-	-	1.0
1.1 騒音	1.0	0.40	-	-	-	-	-
1.2 遮音	1.0	0.40	-	-	-	-	-
1 開口部遮音性能	1.0	0.60	-	-	-	-	-
2 界壁遮音性能	1.0	0.40	-	-	-	-	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	3.0	-	-	-	-	-	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)	3.0	-	-	-	-	-	-
1.3 吸音	1.0	0.20	-	-	-	-	-
2 溫熱環境	1.8	0.35	-	-	-	-	1.8
2.1 室温制御	2.2	0.71	-	-	-	-	-
1 室温	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	-	-	-	-	-
2 外皮性能	快適・働きやすさ	健康・安心	⑨温熱環境	⑤外皮性能	1.0	0.40	-
3 ゾーン別制御性	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	3.0	0.60	-	-	-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	1.0	0.29	-	-	-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ	⑨温熱環境	-	-	-	-	-
3 光・視環境	1.8	0.25	-	-	-	-	1.8
3.1 昼光利用	1.8	0.30	-	-	-	-	-
1 昼光率	快適・働きやすさ	⑩光環境	1.0	0.60	-	-	-
2 方位別開口	快適・働きやすさ	⑩光環境	-	0.40	-	-	-
3 昼光利用設備	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	-	-	-	-
3.2 グレア対策	1.0	0.30	-	-	-	-	-
1 昼光制御	快適・働きやすさ	⑩光環境	1.0	1.00	-	-	-
3.3 照度	快適・働きやすさ	⑩光環境	2.0	0.15	-	-	-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ	⑩光環境	3.0	0.25	-	-	-
4 空気質環境	2.2	0.25	-	-	-	-	2.2
4.1 発生源対策	3.0	0.50	-	-	-	-	-
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	1.00	-	-	-
4.2 換気	1.6	0.30	-	-	-	-	-
1 換気量	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	1.0	0.33	-	-	-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	3.0	0.33	-	-	-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	1.0	0.33	-	-	-
4.3 運用管理	1.0	0.20	-	-	-	-	-
1 CO ₂ の監視	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	1.0	1.00	-	-	-
2 嘴煙の制御	快適・働きやすさ	⑪空気質環境	-	-	-	-	-
Q2 サービス性能	-	0.30	-	-	-	-	2.4
1 機能性	2.1	0.40	-	-	-	-	2.1
1.1 機能性・使いやすさ	2.3	0.40	-	-	-	-	-
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ	⑫機能性	5.0	0.33	-	-	-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	0.33	-	-	-
3 パリアフリー計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	0.33	-	-	-
1.2 心理性・快適性	2.0	0.30	-	-	-	-	-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ	⑫機能性	3.0	0.33	-	-	-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ	⑫機能性	2.0	0.33	-	-	-
3 内装計画	快適・働きやすさ	⑫機能性	1.0	0.33	-	-	-
1.3 維持管理	2.0	0.30	-	-	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ	⑫機能性	2.0	0.50	-	-	-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ	⑫機能性	2.0	0.50	-	-	-
2 耐用性・信頼性	2.4	0.30	-	-	-	-	2.4
2.1 耐震・免震	3.0	0.50	-	-	-	-	-
1 耐震性	防災	⑯耐震・免震	3.0	0.80	-	-	-
2 免震・制振性能	防災	⑯耐震・免震	3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数	2.3	0.30	-	-	-	-	-
1 車体材料の耐用年数	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.22	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	2.0	0.22	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	5.0	0.11	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	-	-	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	-	0.22	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防災	⑯部品・部材の耐用年数向上	3.0	0.22	-	-	-
2.4 信頼性	1.0	0.20	-	-	-	-	-
1 空調・換気設備	防災	⑰信頼性	1.0	0.20	-	-	-
2 給排水・衛生設備	防災	⑰信頼性	1.0	0.20	-	-	-
3 電気設備	防災	⑰信頼性	1.0	0.20	-	-	-
4 機械・配管支持方法	防災	⑰信頼性	1.0	0.20	-	-	-
5 通信・情報設備	防災	⑰信頼性	1.0	0.20	-	-	-
3 対応性・更新性	2.9	0.30	-	-	-	-	2.9
3.1 空間のゆとり	2.2	0.30	-	-	-	-	-
1 階高のゆとり	-	1.0	0.60	-	-	-	-
2 空間の形状・自由さ	-	4.0	0.40	-	-	-	-
3.2 荷重のゆとり	3.0	0.30	-	-	-	-	-
3.3 設備の更新性	3.5	0.40	-	-	-	-	-
1 空調配管の更新性	-	4.0	0.50	-	-	-	-
2 給排水管の更新性	-	3.0	0.25	-	-	-	-
3 電気配線の更新性	-	3.0	0.25	-	-	-	-
4 通信配線の更新性	-	-	-	-	-	-	-
5 設備機器の更新性	-	-	-	-	-	-	-
6 バックアップスペースの確保	-	-	-	-	-	-	-



スコアシート	実施設計段階	重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
配慮項目		<非住宅> <集合住宅>						
Q3 室外環境(敷地内)								
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑯生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑯まちなみ・景観への配慮	1.0	0.40	-	-	-	1.0
3 地域性・アメニティへの配慮			1.5	0.30	-	-	-	1.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑰地域性への配慮	1.0	0.50	-	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑭敷地内温熱環境の向上	2.0	0.50	-	-	-	-
LR 建築物の環境負荷低減性								3.0
LR1 エネルギー								3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制	5.0	0.20	-	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用	3.0	0.10	-	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化	4.1	0.50	-	-	-	4.1
4 効率的運用			2.0	0.20	-	-	-	2.0
集合住宅以外の評価			2.0	1.00	-	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	2.0	1.00	-	-	-	-
集合住宅の評価			-	-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用	-	-	-	-	-	-
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	-	2.6
1 水資源保護			2.2	0.20	-	-	-	2.2
1.1 節水			1.0	0.40	-	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	-	-
2 雜排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60	-	-	-	2.6
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	-	-
2.3 船体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	-	-
2.4 船体材料以外におけるリサイクル材の使用			1.0	0.20	-	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			4.0	0.20	-	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20	-	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	1.00	-	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			-	-	-	-	-	-
1 消火剤			-	-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)			-	-	-	-	-	-
3 冷媒			-	-	-	-	-	-
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	-	2.6
1 地球温暖化への配慮			3.6	0.33	-	-	-	3.6
2 地域環境への配慮			2.4	0.33	-	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.6	0.25	-	-	-	-
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.33	-	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制			-	-	-	-	-	-
3 交通負荷抑制			4.0	0.33	-	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制			1.0	0.33	-	-	-	-
3 周辺環境への配慮			2.0	0.33	-	-	-	2.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-	-
1 騒音			-	-	-	-	-	-
2 振動			-	-	-	-	-	-
3 悪臭			3.0	1.00	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			1.6	0.40	-	-	-	-
1 風害の抑制			1.0	0.70	-	-	-	-
2 砂塵の抑制			1.0	-	-	-	-	-
3 日照阻害の抑制			3.0	0.30	-	-	-	-
3.3 光害の抑制			1.0	0.20	-	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			1.0	1.00	-	-	-	-
2 曜光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			-	-	-	-	-	-

上記以外の重点項目								
<事務所用途>								
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組	1.0	-	-	-	-	-
<住宅用途>								
健康と安心								
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-	-
2 適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-	-
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策	-	-	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策	-	-	-	-	-	-